

## 学費ゼロ・奨学金返済ゼロの社会へ

12月13日に久しぶりに企画を行いました。参加は、20名ほどでしたが、中身は大変濃く今度の運動のヒントになることがたくさんありました。

メインスピーカーとして、渡辺昭男神戸大学教授におこしいただき、「権利としての教育無償化」というテーマで講演していただきました。無償教育は、世界人権規約、日本国憲法、教育基本法の三つによってしっかり位置付けられていることを強調されていました。ソウル市では学生との懇談で「学費を下げるなら応援する」と言われて、学費半減の政策を掲げて実現した話なども印象的でした。奨学金返済の利子補給や、入学金の減免を求めるなど、教育を権利として堂々と主張し、段階的に無償化を求めていくことの重要性を再認識しました。



また、労福協の方にもお越しいただき、奨学金の返済相談にあたっておられる中で聞かれたリアルな現状を聞かせていただきました。奨学金を借りた後に病気などの理由で返済が困難になり、家族も苦しめられているという相談が寄せられたことなどが報告されました。

### 実態・運動交流より

#### 私立大学の学生

首都圏で始まった学費無償化プロジェクト（FREE）の取り組みを京都でもと学生有志でFREE京都を立ち上げた。

生活費を切り詰めて一日一食にしている学生の話聞いた。こうした学生の実態を京都からも可視化させて、学費無償化の流れをつくりたい。

#### 高校生・中学生の子をもつ保護者

ママ友との話題は教育費。自分の奨学金を返済しながら、子ども学費の心配をしている状況。保護者の中でもこの問題を考えるグループを作りたい。大学入試制度の問題もある。子育てしている世代も学生さんたちとも共同して取り組んでいきたい。

#### 奨学金を返済中の労働者

Aさん：第二種の奨学金を毎月8-12万円かりながら、アルバイトをして通学や教材費に充てていた。返済額は400万円を超えている。借りるときは、将来こんなに苦勞するとは思わなかった。

Bさん：親が病気になり中退した。高等教育は社会で生きていくために必要なこと。その機会をしっかり保障してほしい。

### 福山和人弁護士が駆けつけてくださいました

来年2月2日の京都市長選挙に出馬を表明している方に、参加を呼びかけたところ福山和人弁護士が冒頭にあいさつに来てくださいました。自らの立命時代の話も交えつつ、独自の給付制奨学金や通学費の負担軽減など高学費に苦しむ学生に寄り添う京都市政への転換を力強く訴えておられました。

**新しい請願署名に取り組んでいます!!**

府議会・市議会向け 締め切りは2月10日です!

学費無償化の世論をさらに大きく起こしていきましょう!!

【お問合せ】 @ldakyo locaidemocracyaction@gmail.com

